|  |  |
| --- | --- |
| 整理番号 |  |

令和４年度からの特色ある共同利用・共同研究拠点　申請書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学名 |  | | | |
| 申請者 | 学　長　名 |  | | |
| 本部所在地 | 〒 | | |
| 拠点の名称 | （例：○○○○○拠点） | | | |
| 申請施設の名称 | （例：○○○研究所）  ※連携する研究施設がある場合は記載するとともに、別添「連携する研究施設概要」を作成 | | | |
| 研究分野 | ※共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入 | | | |
| 申請施設の代表者 | フリガナ |  | 生年月日 | 昭和 年 月 日（ 歳） |
| 氏名 |  |
| 所属部署 |  | 役職名 |  |
| 所在地 | 〒 | | |
| ＴＥＬ |  | ＦＡＸ |  |
| E-mail |  | | |
| １．共同利用・共同研究拠点の全体概要 | | | | |
| （１）共同利用･共同研究拠点の目的・概要  　　●共同利用・共同研究拠点の目的や目指す役割、個々の大学の枠を越えて研究者の共同利用・共同研究に活用する拠点形成の必要性を記入  ●上記を踏まえた拠点の全体計画の概要を記入  ※上記の各項目において、建学の精神、地域の個性やニーズ、学問領域の新規性等の特色について記入  　　　※大学全体の今後の方向性における拠点の位置付けについて【別紙１】に記入  ※ネットワーク型拠点（拠点ネットワーク）又は連携ネットワーク型拠点（以下、「ネットワーク型拠点等」という。）の場合は、上記に加え、ネットワーク型拠点等とする必要性についても記入  （２）期待される効果、意義  　　●全国的な関連研究者コミュニティへの寄与について記入  　　●関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与（全国的な学術研究の発展への寄与）について記入  ●若手研究者の育成への寄与（当該分野における若手研究者育成の必要性）について記入  ※ネットワーク型拠点等の場合は、上記に加え、ネットワーク型拠点等として期待される相乗効果についても記入 | | | | |
| （３）共同利用・共同研究拠点の体制  ●運営委員会等を中心とした体制を記入（全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入）  ※ネットワーク型拠点等の場合は、上記に加え、共同利用・共同研究拠点の構成図と役割分担についても記入 | | | | |
| ２．申請施設の概要 | | | | |
| ●申請施設の組織、人員、予算等を記入  ※申請施設における主な競争的資金等の採択状況について【別紙２】に記入  ※申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）について【別紙３】に記入  ※学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付  組織（組織図等）  人員（令和３年10月１日現在）   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 小計 | 技術職員 | 事務職員 | 研究員等 | 合計 | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | (　　) | (　　) | (　　) | (　　) | (　　) | (　　) | （　　) | (　　) | (　　) | (　　) |   　※上段は申請施設に所属する専任教職員数を記入してください。下段( )は兼任教員や非常勤職員等の人数を外数で記入してください。  ※今後、拠点化に当たり、学内措置等により、人員の拡充等を予定している場合は、表を追加して予定の人員の内訳を記入してください。  人員（令和○年○月○時点（予定））   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 小計 | 技術職員 | 事務職員 | 研究員等 | 合計 | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | (　　) | (　　) | (　　) | (　　) | (　　) | (　　) | （　　) | (　　) | (　　) | (　　) |   　予算（申請施設の運営経費等）　　　○，○○○百万円（令和２年度決算額）  ※上の経費には、競争的資金等の外部資金は含めないでください。ただし、申請施設の運営に大きく関わっている競争的資金等の外部資金がある場合は、その内訳を余白に記入してください。 | | | | |
| ３．共同利用・共同研究の状況 | | | | |
| （１）個々の大学の枠を越えて研究者の共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況  【別紙４】 | | | | |
| （２）共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制  　　●研究室等の提供状況等について記入 | | | | |
| （３）運営委員会の状況  　　●運営委員会の共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割について記入  　　　※設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付 | | | | |
| （４）個々の大学の枠を越えた研究者の共同利用・共同研究の課題の公募方法  ●共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法について記入  ※採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付 | | | | |
| （５）共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信  　　●共同利用・共同研究に関する情報提供の内容・方法について記入  　　●共同利用・共同研究による研究成果の情報発信の仕組みについて記入  　　●シンポジウムの実施状況等について記入 | | | | |
| （６）単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数 | | | | |
| （７）申請施設が中心となった主な共同利用・共同研究の実績【別紙５】 | | | | |
| ４．研究者コミュニティ等の状況 | | | | |
| ●関連する研究者コミュニティの分野や、関連する学会等の状況について【別紙６】に記入  ※要望書を別途添付 | | | | |
| ５．共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制等 | | | | |
| （１）学内の支援体制  　　●拠点における専任研究者･教育研究支援者等の措置状況について記入  　　●学内予算の配分状況等について記入 | | | | |
| （２）事務体制  　　●拠点の事務体制について記入（組織図等を記入） | | | | |
| （３）人権の保護及び法令等の遵守への対応  　　●共同利用・共同研究の実施に当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等に基づく手続が必要な研究が含まれる場合、講じる対策と措置を記入 | | | | |
|  | | | | |
| 事務担当責任者 | フリガナ |  | 所属部署  役職名 |  |
| 氏名 |  |
| 所在地 | 〒 | | |
| ＴＥＬ |  | ＦＡＸ |  |
| E-mail |  | | |

**【別紙１】**

**拠点に対する大学としての基本的考え方**

大学名

学長名　　○　○　○　○

※全学的な支援の在り方を含め、大学として拠点をどのように発展させるべきか等の基本的な考え方（大学全体の今後の方向性における拠点の位置付け等）について記入してください。（自由記述）

**【別紙２】**

**申請施設における主な競争的資金等の採択状況**

**○○○大学○○○○○（申請施設名）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 課題名 | 研究代表者 | 申請・採択状況 | 期間・予算規模 |
| （例）  ○○事業 |  | ○○　○○ | 採択 | Ｈ29～Ｒ３  ○○百万円（総額） |
| △△事業 |  | △△　△△ | 採択 | Ｈ29～Ｒ３  △△百万円（総額） |
| □□事業 |  | □□　□□ | 採択 | Ｈ30～Ｒ４  □□百万円（総額） |
| ◇◇事業 |  | ◇◇　◇◇ | 申請中 | Ｒ３～Ｒ５  ◇◇百万円（総額） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（記入要領）

１．申請施設において令和３年度現在受け入れている又は申請を行っている主な競争的資金等（競争的資金を中心とした公募型の研究資金。他府省を含む）を記入すること

２．「制度名」欄には、競争的資金制度（事業）等の名称を記入すること

３．「研究代表者」欄には、各制度（事業）における研究代表者名を記入すること

４．「申請・採択状況」欄には、各制度（事業）の申請・採択状況について記入すること

５．「期間・予算規模」欄には、各制度（事業）の期間・予算規模（単位：百万円。研究期間中の総額）を記入すること

６．最初に採択されているものを記入し、その次に申請中のものを記入すること

**【別紙３】**

**申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）**

**（平成30年度/令和元年度/令和２年度）**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究実績（成果等）の概要 | 研究代表者 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**○○○大学○○○○○（申請施設名）**

※過去３年度（平成30～令和２年度）分の主な研究実績（成果等）を別葉で記入すること

**【別紙４】**

**共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況**

**（平成30年度/令和元年度/令和２年度）**

**○○○大学○○○○○（申請施設名）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設、設備及び資料等名 | 性能 | 概　　　　要 | 総利用者数 |  |
| うち共同利用・  共同研究者数 |
| （例）  ○○施設 | ○ |  | （例）  人（学内）  　　　　　　人（学外） | 人（学内）  人（学外） |
| ○○設備 | △ |  | 人（学内）  　　　　　　人（学外） | 人（学内）  人（学外） |
| ○○文献データベース |  |  | アクセス | ― |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※過去３年度（平成30～令和２年度）分の実績（整備・利用状況）を別葉で記入すること

※世界／国内最高性能（規摸）を持つ施設・設備（資料等）の場合は、「性能」欄に○（世界最高）／△（国内最高）を記入し、「概要」欄にどういった点が世界／国内最高性能（規摸）であるのかを記入すること

**【別紙５】**

**申請施設が中心となった主な共同利用・共同研究の実績**

**○○○大学○○○○○（申請施設名）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．平成30年度/令和元年度/令和２年度の主な共同利用・共同研究の概要　　　　　　　　（総件数　○○件）   |  |  | | --- | --- | | 共同利用・共同研究課題名 | 共同利用・共同研究の概要 | |  |  | |  |  | |  |  | |  |  | |  |  | |  |  | |  |  |   ※過去３年度（平成30～令和２年度）分の実績を別葉で記入すること  ２．共同利用・共同研究者の受入れ状況（平成30年度/令和元年度/令和２年度）  　※当該申請施設が主催して行う共同利用・共同研究に参加した研究者の人数、延べ人数、所属機関数を記入すること（学内の研究者も含む）  　※過去３年度（平成30～令和２年度）分の受入れ状況を別葉で記入すること   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 分　　類 | 概　　要  ※テーマ、概要等を記載 | 人　数 | 延べ人数  （人・日） | 所属  機関数 | | （例）  一般共同研究 |  |  |  |  | | 施設等利用型共同研究 |  |  |  |  | | 研究会・研究集会 |  |  |  |  | |  |  |  |  |  | | 合　計 |  |  |  |  |   注１：共同利用・共同研究者は以下の者を除き、共同利用・共同研究者の定義を、下の＜共同利用・共同研究者の定義、カウント方法＞欄に記入すること  ａ　民間等の受託研究員制度、特別研究員制度等の他の制度で受け入れた研究者  　　　　ｂ　学生としての大学院生、外国人留学生等  　　　　ｃ　民間企業の研究者で当該企業の目的のために施設・設備及び資料等を利用する者  注２：延べ人数は以下の例を参考に考え、カウント方法を、下の＜共同利用・共同研究者の定義、カウント方法＞欄に記入すること  例１）１つの共同利用・共同研究プロジェクトで２人が３日来所した場合  　　　→　人数２人、延べ人数６人・日  例２）同一人物が２つのプロジェクト(Ａ、Ｂ)に参加し、プロジェクトＡのために３日、プロジェクトＢのために４日来所した場合  　　　 →　人数２人、延べ人数７人・日  注３：所属機関数は、実数（重複を取り除いた数値）で記入すること  ＜共同利用・共同研究者の定義、カウント方法＞  ※共同利用・共同研究者の定義、カウント方法を記入 |

**【別紙６】**

**研究者コミュニティ等の状況**

１．関連する研究者コミュニティの分野

|  |
| --- |
|  |

２．関連する学会等の状況

|  |
| --- |
| ※学会の名称及び規模を記載 |

３．要望書の提出のあった研究者コミュニティ一覧

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名（個人の場合は「個人」と記入） | 代表者名 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 上記の要望書は、各研究者コミュニティにおいて自発的に作成したものであり、申請施設から文面等を提示したものではありません。  学長名 | |